

包括的な学校改善の推進に向けた校長のマネジメント

中核校

浦河町立堺町小学校

指定校

浦河町立浦河小学校、浦河町立浦河第一中学校

実践前の状況

- ・校長が示す学校経営方針について、教職員の共有が十分ではなかった。
- ・授業改善に向けてのベクトルが十分に揃っていなかった。

実践の概要

参画意識を高める組織マネジメントの推進

- ・校長、教頭、主幹教諭及び教務主任で構成する「実務者会議」を週1回開催し、1週間の様々な教育活動に係る確認のほか、重点目標達成に向けた学校経営の進捗状況や、全学級の授業改善をはじめとした学級経営の状況についての意見交流を行い、共通理解を図った。
- ・分掌会議を廃止し、分掌を束ねたグループ会議を設定するとともに、各グループ長、校長、教頭、主幹教諭及び教務主任で構成する「計画委員会」での協議や判断を組織マネジメントの核として重視することを通して、分掌間連携や当事者意識の醸成を図った。
- ・課題解決及び重点目標の達成に向け、スピード感をもって組織を横断する一体的な取組となるよう、コアチーム（学力向上/ふるさとキャリア教育/働き方改革等）を組織し取組を進めた。
- ・メンター・メンティー研修の計画的な実施を通して、中堅、ベテラン層の後継者育成等の意識化を図った。

育成を目指す資質・能力の確実な定着に向けた授業改善の推進

- ・育成を目指す資質・能力について、学校経営方針に重点的な内容として提示し、具現化に向けて共通理解を図った。
- ・管内向けの「実践発表会」や町内向けの公開授業研究会を複数回開催するとともに、公開授業を短くコンパクトにまとめた映像資料を町内外に発信した。
- ・外部講師による全学級参観及び指導助言、講演会、授業改善クリニックの実施及び先進地視察研修（秋田県大館市）への参加等、今年度の研究テーマ「児童が共感的・協働的に学び合う堺町型授業の構築」のもと、公開授業の検証を中心に授業改善を図るとともに、授業参観週間の設定や管理職等による日常的な授業参観及び指導助言を行った。



【学力向上ロードマップ】
【堺小学力向上改善プラン】



【堺小研修通信「切磋琢磨」】

実践の充実にに向けた取組の工夫

〔校長の取組〕

- ・「実務者会議」において、学校経営に係る進捗状況や課題等について、教頭、主幹教諭及び教務主任が自由闊達に意見交流できるような雰囲気づくりに努めた。また、新たな取組について「どこが」、「どのように」推進するかを明確にし、進行状況を確認をするよう指示した。

〔専科教員及び事務職員の取組〕

- ・専科教員は、学力向上推進教師、教務主任、研修部長、各グループ長とともに「学力向上推進チーム」を構成し、「学力向上ロードマップ」の推進を図った。
- ・事務職員は、「働き方改革運営計画」を作成し、働き方改革推進チームの中核として中心的な役割を担った。

成果（ ）と今後の課題（ ）

各グループ会議において、主幹教諭や教務主任がオブザーバーで参加することにより、実務者会議での確認事項を確実に踏まえた協議を行うなど、組織的な取組を推進することができた。

〔学校評価（教職員）の「管理職や他職員との情報共有、連携・協力のもと、チームによる子どもへの支援に取り組んでいる」について、肯定的な評価が前後期とも100%〕

学校全体の授業改善について、重点目標の具現化を図ることができた。

〔学校評価（教職員）の「重点目標を意識した教育活動を行っている」について、肯定的な評価が後期100%〕